

## ミヤマアカネ

兵庫県：要注目

*Sympetrum pedemontanum elatum*

環境省： —

### 種の概要

腹長20～26mm、後翅長26～30mm程度。体色は橙褐色で、翅に赤褐色の帯を有する。♂は成熟すると全身が赤化する。幼虫が成長にともなって止水部分から流水部分に移動する性質があることが解明され、流水と止水が接続するような水環境に生息する。かつて水田に多かったのは、流水環境としての用水路と、止水環境としての水田がつながっていたためと考えられる。幼虫は沈積物の陰や植物の根際に潜んでいる。成虫は6月～12月に見られる。



写真提供：青木典司

### 国内分布

北海道、本州、四国、九州

### 県内分布記録

神戸市、姫路市、西宮市、芦屋市、相生市、豊岡市、赤穂市、西脇市、宝塚市、川西市、小野市、三田市、加西市、丹波篠山市、養父市、丹波市、南あわじ市、朝来市、宍粟市、たつの市、猪名川町、多可町、市川町、福崎町、神河町、上郡町、佐用町、香美町、新温泉町

### 選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○	○			

### 特記事項

Cランクから要注目種に変更

圃場整備により流水と止水が連続するような環境が失われ、水田で生活する個体群が激減した。現在は主に河川で見られる。河川環境では若齢幼虫が過す止水部分の面積が小さくなり、一部の河川を除いていずれの個体群サイズも小さい傾向がある。環境要求の特殊性からみて、その生息基盤は存続が危うい。

### 保護上の留意点

生息河川の浚渫は、一気に行わず、部分的に行うこと。